

## 6.6 学位授与・課程修了の認定

### 進捗状況報告

2007年度の進捗状況で報告したように、修士学位、博士学位の審査の公正性、透明性の確保については各専攻で工夫しているが、分野による違いもあり、研究科全体で統一基準を策定するのはむずかしい。各分野の特性を配慮した学位授与の基準の明確化に向けた検討を進めていく必要がある。

### 学内第三者評価

修士学位、博士学位の審査の方法・体制は学位規程に則って、公正なしくみを通じて適正に行われている。一部の専攻では、修士学位については「国内での主たる学会（研究会レベルではなく全国レベル）」または「国際学会」での発表、博士学位については、学会発表に加えて、「あるレベル以上（インパクトファクターで設定）の査読付き欧文誌」での受理を取得要件とすることで、学生の学位取得に対する成果目標を明確にしているように、学生への学位授与の方針・基準を明確化する取り組みを進め、早急に研究科としての方針を示すことが期待される。